

2018年度ラオス活動報告

期 間：2018年3月23日～25日

場 所：ピエンチャン

参加者：小久保 謙一（国際委員会）、安部 貴之（国際委員会）、川西 秀樹（土谷総合病院）、兵藤 透（えいじんクリニック）、石村 栄治（大阪市立大学）、深澤 瑞也（山梨大学）

1. ラオス腎臓学会設立総会および講演会の実施

2018年3月24日に、ラオス腎臓学会設立総会および講演会が行われた。ラオス全域から腎臓医、透析医と関連職種の約100名が集まり、ミタパブ病院のファンカム先生を会長とするラオス腎臓学会の設立が承認された。日本からは、NPOいつでもどこでも血液浄化インターナショナルおよびJSTB国際委員会より講演会への講師派遣を行った。

2. 透析液清浄化に向けた技術支援

ETRFを設置した3施設のET、生菌数測定を行い、透析液清浄度の確認を行った。その際、技術的な課題等について、現地の医師、看護師、エンジニアとディスカッションを行った。今後は、現地での定期的なETおよび生菌数の測定ができるようなシステムづくりへの協力、適切な洗浄方法や消毒薬の検討などが必要と考えられた。

